

小学校知的障がい特別支援学級 5・6年 生活単元学習 学習指導案

3時間目 (10:20～11:05)

場所：〇〇学級教室、家庭科室

対象：5年1名、6年1名

1 題材名 「場面に応じた計算方法を身に付けて、買い物名人になろう！」

2 児童の実態(全2名)

	実態	指導の方向
A 児	<p>○一般的な実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい <p>○本時のめあてに関わる実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60円、125円、85円の品物を買う問題(全部で何円になるでしょう?)では、『全部で』だから、『+』だと言い、立式した。くり上がりの「1」を書いているが、その「1」を上の方に足さずに間違えた。 ・8円の品物を7つ買う問題(全部で何円になるでしょう?)では、始めは「8+8+…」と、全てたし算の式にした。途中で、「56」とつぶやいたので、「どうしてパツとわかったの。それを式にすると?」と問うと「8×7」という式を書いた。また、たし算の式に「8が7」と書き加えた。 ・15円の品物を5つと60円の品物を1つ買う問題(全部で何円になるでしょう?)では、「15+15+…」と15を5つ足していく筆算をする際に、5が5個あることを見て、合計欄に「25」と書いた。 ・かけ算九九は、まだ定着していない段(2, 6～9)がある。答えられないものがある際、例えば6×3の場合、「3×6…さぶろく…?」のように、かけられる数とかける数を反対にして問うと、答えられることがある。 <p>○指導方法に関わる実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆圧が強く、字が大きくなってしまふ。そのため、小さい枠の中に書くと、数字が潰れてしまい見にくくなり、計算ミスにつながってしまうことがある。 ・学習のポイントとなることを自分でメモしたり、教師に「付箋に書いて、貼ってください」と伝えたりして、書いたメモを手がかりに問題を解く。 ・プリント学習の際、問題数が多いと、やる気を失うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算スペースを大きく取り、マス目も入れる。位を意識し、数字も大きく書けるようにすることで、正確に計算できるようにする。 ・値段が1桁の品物が複数個ある際は、かけ算を使えば良いことに気づくことができた。値段が2, 3桁の際も、かけ算の考えが使える、「より簡単に」「より正確に」計算できるようにしたい。 ・立式を主とするので、必要に応じて九九表、また2, 3桁のかけ算には、電卓を使用しても良い場面を設ける。 ・題材終了後は、「買い物名人」として、自信を持って買い物ができるようにしたい。
B 児	<p>○一般的な実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい <p>○本時のめあてに関わる実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60円、125円、85円の品物を買う問題(全部で何円になるでしょう?)では、くり上がりの「1」を書いているが、その「1」を上の方に足さずに間違えた。 ・8円の品物を7つ買う問題(全部で何円になるでしょう?)では、数字を2つずつ足して、計算していた。しかし、「8+8=17」と間違えていた。かけ算の式にはできなかった。 ・15円の品物を5つと60円の品物を1つ買う問題(全部で何円になるでし 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算スペースを大きく取り、マス目も入れる。位を意識し、数字も大きく書けるようにすることで、正確に計算できるようにする。 ・本人なりに工夫して、計算していたが、計算間違いがあった。「より簡単に」「より正確に」計算するために、場面に応じて、かけ算を使うと便利

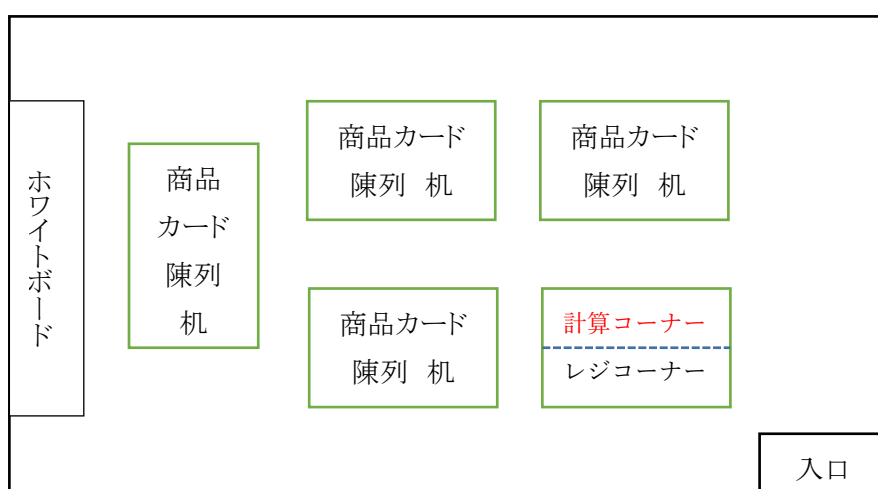
B児	<p>よう?)でも、上記と同様に2つずつ足していた。「15円の5個分」というかけ算の式にはできなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> •かけ算九九は、まだ定着していない段(6~9)がある。答えがパッと出てこないところがあると、自分で「6×5…五六……30！」等と、かけられる数とかける数を反対にして唱えて、答えを出すことがある。 <p>○指導方法に関わる実態</p> <ul style="list-style-type: none"> •「いやだ～、やりたくない」と口癖のように言うが、学習が始まると頑張る。 •新しい学習への抵抗感を減らすため、「解き方のパターン」を一緒に見つける活動を始めに取り入れている。その後、「ルール」をカードに書いて掲示し、それを手掛かりとしながら問題を解くようにしている。 	<p>なことに気づき、立式、計算ができるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> •立式を主とするので、必要に応じて九九表、また2, 3桁のかけ算には、電卓を使用しても良い場面を設ける。 •題材終了後は、「買い物名人」として、自信を持って買い物ができるようにしたい。
----	--	---

3 本時のめあて(本時:7時間扱いの5時間目)

A児	思	<ul style="list-style-type: none"> •模擬店での買い物で、同じ品物を複数個と、別の品物を1個買う時、同じ品物の合計金額はかけ算で計算して、別の品物の金額を足せば良いことに気づき、立式して、代金を求めることができる。
	学	<ul style="list-style-type: none"> •模擬店での買い物を通して、代金を求めるために、積極的に式を考えたり、必要に応じて、九九表や電卓を使って、計算したりしようとしている。
B児	思	<ul style="list-style-type: none"> •模擬店での買い物で、同じ品物を複数個と、別の品物を1個買う時、ミッションカードに書かれた品物の順番に関わらず、同じ品物の合計金額はかけ算で計算して、別の品物の金額を足せば良いことに気づき、立式して、代金を求めることができる。
	学	<ul style="list-style-type: none"> •模擬店での買い物を通して、代金を求めるために、積極的に式を考えたり、必要に応じて、九九表や電卓を使って計算したりしようとしている。

4 場面設定と準備物

(1) 場面設定 (模擬店:家庭科室に設置)



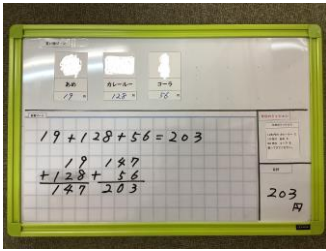
- 「商品カード」は、大まかな種類ごとに分けて、陳列用の机に置く。そうすることで、「ミッションカード」に書かれた商品が、どのコーナーにあるのかを考えながら探す経験ができるようにした。
- 「買い物計算ホワイトボード」に、「商品カード」を貼っていき、合計金額を計算する。その際に、落ち着いて計算に取り組むことができるよう、計算コーナーを設置した。

(2) 準備物

- 使う金種と枚数:500円1枚、100円4枚、50円1枚、10円4枚、5円1枚、1円5枚の1000円分とした。
- ミッションカード:校外学習や家庭でのお使いの際にも、買い物メモを持って、それを見ながら買い物をする、忘れずに買い物ができることの良さを意味づけるため、「ミッションカード」を準備した。

- ・**買い物計算ホワイトボード(写真①)**: ホワイトボードを買い物カゴに見立て、上段に「商品カード」を貼るスペースを設けた。「計算ゾーン」は大きく取り、マス目もつけることで、位を意識し、間違えずに計算できるようにした。
- ・**ポイントカード(写真②)**: 模擬店での買い物でミッションをクリアする度、「ポイントカード」にシールを貼っていく。ポイントがいっぱいになると、「〇〇ストアに行ける！」という目標設定をすることで、意欲づけを図る。
- ・**商品カード(写真③)**: 商品を選ぶ楽しさを感じられるように、イラストや写真を使いカード化した。
- ・**レジスタディ(写真④)、及びレジスター**: 代金の支払い、お釣りのやり取りをするために、タブレット端末の『レジスタディ』アプリを活用する。また、レジ係の雰囲気を出し、楽しく取り組めるように、レジスターの教具も準備した。

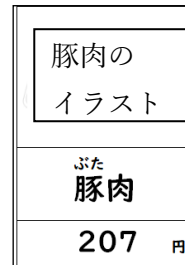
写真①



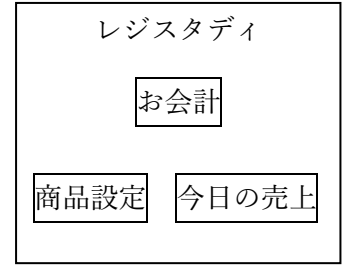
写真②



写真③



写真④



(3) 板書計画

11月 19日 火曜日 3時間目

買い物学習のルール

買い物役の人
①ミッションカードに書かれた品物を探し、「買い物計算ホワイトボード」に品物を貼っていく。
②式を考えて書いて、計算をする。
③お互いの「買い物計算ホワイトボード」を見比べて、相手と違っていたら、どこが違うのか、どうすれば良いのかを一緒に考えて、合計金額を出す。
※ それでも、「困った!!」時には、「ヒントを下さい」と言って、教えてもらおう!

レジ役の人
①先日から渡された、「ミッションの品物写真」を見て、自分の「買い物計算ホワイトボード」に、式を考えて書いて、計算をする。
※ 早く計算が終わったら、商品並べ、整理をする。
②買い物役の人の計算が終わったら、一緒に見合う。
③どちらの「買い物計算ホワイトボード」を見比べて、相手と違っていたら、どこが違うのか、どうすれば良いのかを一緒に考えて、合計金額を出す。
④「レジスタディ」アプリで代金を確認する。
⑤出されたお金を入力して、お釣りレシートを出す。
⑥買い物役とレジ役を交代する。
↑ をくり返す。

1 プリントとじ

2 がんばりタイム

めあて

Aさん Bさん

かだい かんが
?(考えること)

どんな式を立てたら、
より簡単に、より正確に計算できるかな。

用意する金種表

各金種のイラスト1枚
4枚
1枚
4枚
1枚
5枚

「同じ品物」をいくつかと、「別の品物」を1つ
買う時の計算の仕方を考えよう。

1	ルールの確認
2	お金をそろえる
3	今日のミッション発表
4	〇〇ストアに行こう!

3 がんばったことの発表

まとめ

①同じ品物を かけ算する
②別の品物を たし算する
と良い。

5 展開

学習活動	教師の意図と働きかけ															
	A児(対象児)	B児														
1. 「プリントとじ」 ・前時のプリントや宿題をファイルに綴じる	<ul style="list-style-type: none"> ○入室後、すぐにプリントを取って席に着くという動線にするため、教室入口近くに学習ボックスを設置する。 ○前のホワイトボードに、1～3までのスケジュールや本時のめあてを提示しておくことで、1時間の見通しを持って学習に取り組めるようにする。 															
2. 「がんばりタイム」 ①今日のめあてを確認する ・一緒に読む ・「めあてプリント」に記入する ②課題(考えること)を伝える ③買い物学習の流れを確認する ・ルールを確認する ・お金をそろえる	<p>めあて: 「同じ品物」をいくつかと、「別の品物」を1つ買う時の計算の仕方を考えよう。</p> <p>↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてをみんなで声に出して読み、確認しあう。 ○「めあてプリント」に本時のめあてを記入することで、今日がんばることを、より意識できるようにする。 ○ポイントとして「同じ品物」と「別の物」も1つ買うことが、前回との違いであることをおさえる。 <p>課題(考えること)：どんな式を立てたら、より簡単に、より正確に計算できるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今日も「より簡単に」、そして、「より正確に」計算するためには、どのような式を立てたら良いのかを考えることが、ポイントであることを伝える。 ○黒板に掲示してあるルール表を一緒に見ながら、確認する。 ○1000円分のお金を、金種と枚数に気を付けながらそろえる。 															
<p><買い物学習のルール></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">買い物役の人</th> <th style="width: 50%;">レジ役の人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ミッションカードに書かれた品物を探し、「買い物計算ホワイトボード」に品物を貼っていく。</td> <td>①先生から渡された、「ミッションの品物写真」を見て、自分の「買い物計算ホワイトボード」に、式を考えて書いて、計算をする。</td> </tr> <tr> <td>②式を考えて書いて、計算をする。</td> <td>※ 早く計算が終わったら、商品並べ、整理をする。 ②買い物役の人の計算が終わったら、一緒に見合う。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> ③お互いの「買い物計算ホワイトボード」を見比べて、相手と違っていたら、どこが違うのか、どうすれば良いのかを一緒に考えて、合計金額を出す。 ☆ それでも、「困った!!」時には、先生に「ヒントを下さい」と言って、教えてもらおう! </td> </tr> <tr> <td>④どの種類のお金を、いくつ出せば良いかを考えて、支払いをする。</td> <td>④「レジスタディ」アプリで代金を確認する。</td> </tr> <tr> <td>⑤お釣りとレシートを受け取る。</td> <td>⑤出されたお金を入力して、お釣りとレシートを渡す。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> ⑥買い物役とレジ役を交代する。 ↑ をくり返す。 </td> </tr> </tbody> </table>			買い物役の人	レジ役の人	①ミッションカードに書かれた品物を探し、「買い物計算ホワイトボード」に品物を貼っていく。	①先生から渡された、「ミッションの品物写真」を見て、自分の「買い物計算ホワイトボード」に、式を考えて書いて、計算をする。	②式を考えて書いて、計算をする。	※ 早く計算が終わったら、商品並べ、整理をする。 ②買い物役の人の計算が終わったら、一緒に見合う。	③お互いの「買い物計算ホワイトボード」を見比べて、相手と違っていたら、どこが違うのか、どうすれば良いのかを一緒に考えて、合計金額を出す。 ☆ それでも、「困った!!」時には、先生に「ヒントを下さい」と言って、教えてもらおう!		④どの種類のお金を、いくつ出せば良いかを考えて、支払いをする。	④「レジスタディ」アプリで代金を確認する。	⑤お釣りとレシートを受け取る。	⑤出されたお金を入力して、お釣りとレシートを渡す。	⑥買い物役とレジ役を交代する。 ↑ をくり返す。	
買い物役の人	レジ役の人															
①ミッションカードに書かれた品物を探し、「買い物計算ホワイトボード」に品物を貼っていく。	①先生から渡された、「ミッションの品物写真」を見て、自分の「買い物計算ホワイトボード」に、式を考えて書いて、計算をする。															
②式を考えて書いて、計算をする。	※ 早く計算が終わったら、商品並べ、整理をする。 ②買い物役の人の計算が終わったら、一緒に見合う。															
③お互いの「買い物計算ホワイトボード」を見比べて、相手と違っていたら、どこが違うのか、どうすれば良いのかを一緒に考えて、合計金額を出す。 ☆ それでも、「困った!!」時には、先生に「ヒントを下さい」と言って、教えてもらおう!																
④どの種類のお金を、いくつ出せば良いかを考えて、支払いをする。	④「レジスタディ」アプリで代金を確認する。															
⑤お釣りとレシートを受け取る。	⑤出されたお金を入力して、お釣りとレシートを渡す。															
⑥買い物役とレジ役を交代する。 ↑ をくり返す。																

<p>④買い物をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッションカードを受け取る ・模擬店に移動する ・順番に買い物をする 	<p>○「今日も、より簡単に、より正確に計算して、ミッション通りに買い物をしてみよう」と伝え、買い物の様子を見る。</p> <p>○レジ役の子には、ミッションの品物写真のプリントを渡し、自分の「買い物計算用ホワイトボード」に立式をして、計算しておくように伝える。</p> <p>○「計算用ホワイトボード」をタブレットで撮影し、振り返りの際に、どのように考えて計算したのかを提示できるようにしておく。</p> <p>○それぞれが、買い物役として2回のミッションに取り組む。そのうち、1回目は正しく立式することを主とするため、かけ算は電卓を使用しても良いこととする。ただし2回目のミッションでは、自力で計算することもミッションの1つであることを伝える。</p> <table border="1" data-bbox="454 571 1449 855"> <thead> <tr> <th data-bbox="454 571 699 616">今日のミッション5-①</th> <th data-bbox="699 571 943 616">今日のミッション5-②</th> <th data-bbox="943 571 1187 616">今日のミッション5-③</th> <th data-bbox="1187 571 1449 616">今日のミッション5-④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="454 616 699 788"> <p>にんじん を 7本 と じゃがいも を 買ってきてください。</p> </td> <td data-bbox="699 616 943 788"> <p>玉ねぎ と カレー皿 を 8個 買ってきてください。</p> </td> <td data-bbox="943 616 1187 788"> <p>せんざい を 6本と 牛肉 を 買ってきてください。</p> </td> <td data-bbox="1187 616 1449 788"> <p>カレー-甘口 と 豚肉 を 3パック 買ってきてください。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 788 699 855" style="text-align: center;"> <p>A・1 回目</p> </td> <td data-bbox="699 788 943 855" style="text-align: center;"> <p>B・1 回目</p> </td> <td data-bbox="943 788 1187 855" style="text-align: center;"> <p>A・2 回目</p> </td> <td data-bbox="1187 788 1449 855" style="text-align: center;"> <p>B・2 回目</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>○時間がある場合は、補充問題としてミッション⑤⑥も提示し、挑戦するように促す。</p> <table border="1" data-bbox="454 907 1449 1429"> <tr> <td data-bbox="454 907 943 1429"> <ul style="list-style-type: none"> ・商品カードを貼った時、値段が違う品物があることに戸惑い、前の品物から順番に、全てたし算で計算しようとしている場合は、違う品物の商品カードを一度外し、「同じ品物をいくつか買う時の計算は、どうだったかな」と伝え、前時の学習を思い出せるか、様子を見る。 ・「同じ品物は、かけ算で求めれば良い」「その後、別の品物を足せば良い」ということに気づき、正しく立式できた際には、大いに認める。 </td> <td data-bbox="943 907 1449 1429"> <ul style="list-style-type: none"> ・Bの1回目の商品カードを貼った時、品物の順番に戸惑い(A・1回目と異なる値段の並びになっている)、前の商品から2つずつ順番に、たし算で計算しようとしている場合は、「商品カードを並べ替えても良いよ」と伝え、A・1回目のカードの時と同じ考え方をすることができるか、様子を見る。 ・品物の値段の順番に惑わされず、順番を入れ替える等して、正しく立式できた際には、大いに認める。 </td> </tr> </table>	今日のミッション5-①	今日のミッション5-②	今日のミッション5-③	今日のミッション5-④	<p>にんじん を 7本 と じゃがいも を 買ってきてください。</p>	<p>玉ねぎ と カレー皿 を 8個 買ってきてください。</p>	<p>せんざい を 6本と 牛肉 を 買ってきてください。</p>	<p>カレー-甘口 と 豚肉 を 3パック 買ってきてください。</p>	<p>A・1 回目</p>	<p>B・1 回目</p>	<p>A・2 回目</p>	<p>B・2 回目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商品カードを貼った時、値段が違う品物があることに戸惑い、前の品物から順番に、全てたし算で計算しようとしている場合は、違う品物の商品カードを一度外し、「同じ品物をいくつか買う時の計算は、どうだったかな」と伝え、前時の学習を思い出せるか、様子を見る。 ・「同じ品物は、かけ算で求めれば良い」「その後、別の品物を足せば良い」ということに気づき、正しく立式できた際には、大いに認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの1回目の商品カードを貼った時、品物の順番に戸惑い(A・1回目と異なる値段の並びになっている)、前の商品から2つずつ順番に、たし算で計算しようとしている場合は、「商品カードを並べ替えても良いよ」と伝え、A・1回目のカードの時と同じ考え方をすることができるか、様子を見る。 ・品物の値段の順番に惑わされず、順番を入れ替える等して、正しく立式できた際には、大いに認める。
今日のミッション5-①	今日のミッション5-②	今日のミッション5-③	今日のミッション5-④												
<p>にんじん を 7本 と じゃがいも を 買ってきてください。</p>	<p>玉ねぎ と カレー皿 を 8個 買ってきてください。</p>	<p>せんざい を 6本と 牛肉 を 買ってきてください。</p>	<p>カレー-甘口 と 豚肉 を 3パック 買ってきてください。</p>												
<p>A・1 回目</p>	<p>B・1 回目</p>	<p>A・2 回目</p>	<p>B・2 回目</p>												
<ul style="list-style-type: none"> ・商品カードを貼った時、値段が違う品物があることに戸惑い、前の品物から順番に、全てたし算で計算しようとしている場合は、違う品物の商品カードを一度外し、「同じ品物をいくつか買う時の計算は、どうだったかな」と伝え、前時の学習を思い出せるか、様子を見る。 ・「同じ品物は、かけ算で求めれば良い」「その後、別の品物を足せば良い」ということに気づき、正しく立式できた際には、大いに認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの1回目の商品カードを貼った時、品物の順番に戸惑い(A・1回目と異なる値段の並びになっている)、前の商品から2つずつ順番に、たし算で計算しようとしている場合は、「商品カードを並べ替えても良いよ」と伝え、A・1回目のカードの時と同じ考え方をすることができるか、様子を見る。 ・品物の値段の順番に惑わされず、順番を入れ替える等して、正しく立式できた際には、大いに認める。 														
<p>⑤まとめをする</p>	<p>○模擬店での買い物の様子や、買い物計算ホワイトボードに書かれた式を撮影した写真を見ながら、振り返りを行う。</p> <p>○児童の言葉を引き出しながら、まとめていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ：①同じ品物を かけ算する ②別の品物を たし算する と良い。</p> </div>														
<p>4.「がんばったことの発表」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてプリントの「ふり返り」欄を記入する ・がんばったことを一人ずつ前で発表する 	<p><予想される児童の発表内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてのことができた。同じ品物を買うときはかけ算をする。別の品物は、後からたし算をすれば良いことがわかった。 ・かけ算とたし算の混じった計算が難しかった。でも、少しできるようになって、うれしかった。また、次のミッションもがんばりたい。 <p>○児童の発表に対して、がんばったこと、できたことを大いに認める言葉かけをする。</p> <p>○「今日はがんばったので、『ポイント2倍デー』!」と伝え、シールを2枚貼る。また、「ポイントがいっぱいになったら、〇〇ストアに買い物学習に行こう!」と伝え、次時以降の学習への意欲づけをする。</p>														

6 評価規準

A児	思	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ品物を複数個と、別の品物を1個買う時、同じ品物の合計金額はかけ算で計算して、別の品物の金額を足せば良いことがわかり、4問中3問、正しく立式することができる。 ・4問中、後半の2問は、必要に応じて九九表を使いながら、自力で計算して正答することができる。
	学	・模擬店での買い物を通して、積極的に立式や計算をしようとしている。
B児	思	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ品物を複数個と、別の品物を1個買う時、ミッションカードに書かれた商品の順番に関わらず、同じ品物の合計金額はかけ算で計算して、別の品物の金額を足せば良いことがわかり、4問中3問、正しく立式することができる。 ・4問中、後半の2問は、必要に応じて九九表を使いながら、自力で計算して正答することができる。
	学	・模擬店での買い物を通して、積極的に立式や計算をしようとしている。

【対象児・A児 実態表】

○:できる、△:だいたいできる、×:まだ難しい

項目	○	△	×	備考
1桁のたし算(くり上がり無・有)	●			くり上がりでは、指を使って考えることがある。
1桁のひき算(くり下がり無・有)	●			
2, 3桁のたし算(くり上がり無・有)		●		筆算の式が書かれている場合はできる。自分で筆算を書く時、2桁+3桁の場合、位のそろえ方でつまづくことがある。また、マス目がないと、くり上がりの際、計算間違いをすることがある。
2, 3桁のひき算(くり下がり無・有)	●			
かけ算九九		●		2の段、6~9の段は、まだ定着しておらず、間違えることがある。
2, 3桁×1桁のかけ算		●		かける順序はわかっている。必要に応じて、九九表を使う。
値段表示(3桁まで)を見て、ちょうどのお金を払う	●			
値段表示(3桁まで)を見て、少し多めのお金を払う	●			

【各時間の「ミッションカード」の計算式 計画表】

☆○○ストアに行った際の、実際の買い物を想定し、

①1~6時間目:「ミッションカードを見ながら、頼まれた物(カレーの材料等)を買う」練習の時間として位置づけた。

②7時間目:「500円のおこづかいで、自分の好きな物を買う」練習、及び題材のまとめの時間として位置づけた。

課題となるミッション(計算式)	
1h: ○○+□□+△△△ 等 (たし算で計算する問題)	2h: ○×□(かけ算九九で、できる問題)
3h: ○○×□(2桁×1桁で計算する問題)	4h: ○○○×□(3桁×1桁で計算する問題)
5h: (○○×□)+△△、(○○○×□)+△△ 等 (かけ算の後に、たし算を1回する問題)	6h: (○○×□)+△△+☆☆ (○○○×□)+△△△+☆☆ 等 (かけ算と、たし算を2回する問題)
※ 5, 6hは、()を使った1つの式ではなくても○とする	
7h: ●●+■●+▲▲=◇◇(500円を超えないかな)、(●●×▲)+■●=◇◇(500円を超えないかな)、 500-◇◇(あと、いくら買えるか確かめる) 等 (これまでの学習の成果を活かして計算する問題)	